復興を担うこどもたちを応援

こども未来応援教室

レポート

今できることプロジェクト 2015年度

今できることプロジェクト2015年度の最終活動として、復興を担う子どもたちを応援する「こども未来応援教室」を、3月21日（月・祝）東北学院大学多賀城キャンパスで開催しました。子どもたちにこれからの時代を見据えた興味深い学習プログラムを提供しようと、午前の部ではプロジェクト賛同企業などによる独自の授業「社会科学習」を実施。午後の部の授業は子どもたちの関心が高いシゴトについて、プロの方から授業を行ってもらい、そのシゴトを体感する「シゴトワークショップ」。また今回は、保護者向けのプログラムとして講演会を開催しました。会場は、約320人の子どもたちの熱心な表情と笑顔に満ちていました。

午後の部 シゴトワークショップ

このシゴトをするには、どんなことが大切なのかな？
いっしょに学んで、一生懸命質問して、とっても楽しい授業でした。

❶歯医者のお仕事

子どもたちの成長を感じられる仕事です

講師
こぐえ歯科クリニック
小久江由佳子先生と皆さん

幼少の頃通院していた歯科医師がとても優しく、通うのが楽しかった思い出があり、小児歯科医を目指すようになりました。歯医者になるためには、国家試験に合格しなければならないので勉強は必要ですが、「やるときはやる」「遊ぶときは遊ぶ」とメリハリをつけ、集中力を持って臨むことが大切です。

小児歯科医はたくさんの子どもたちと接し、口の中の健康を守る仕事です。子どもの成長を保護者の方々と一緒に喜べるときはやりがいを感じますが、一方、小さな子どもの口にたくさんの虫歯があると、歯科医師として事前に何かできなかったのか、と悩むこともあります。

授業では子どもたちがキラキラした目で真剣に話を聞いてくれましたし、一生懸命取り組む姿も印象的でした。学校生活でも今回のように色々なことに挑戦していくと、「自分で考え、行動する力」が身についてきます。そのことを忘れないでくださいね。

参加者の声
仙台市宮城野区
武田七海さん(10)
将来を考えるきっかけに
歯の模型作りが楽しかったです。石膏に色を付けたり、絵を描いたりしました。治療に使う道具も見せてもらえたし、触ってみることもできたのでよかったです。今回体験できて、将来の夢が膨らみました。今度は違う職業も体験してみたいです。

❷警察官のお仕事

何事にも目標を持ち、挑戦することが大切

講師
宮城県警察本部交通企画課安全係
藤原誠警部

警察官は、県民の皆さまの理解と協力をいただきながら、地域の安全と安心を守る仕事です。そのため、感謝や労いの言葉をいただくときにとてもやりがいを感じます。私はそんな警察官の中でも特に白バイ隊員に憧れてこの職業を選びました。今は、地域の方々が交通事故に遭わないようにするために交通安全教育活動などを行っています。

授業では、皆さん真剣に話を聞いてくれましたし、シートベルトの安全性などを体験できる交通安全教育車のシミュレーターやパトカーを使ったマイク広報では、楽しみながら取り組んでくれました。警察官に限らず、仕事をする上で重要なのは自分の置かれた立場をしっかりと把握し、一生懸命取り組むこと。子どもたちの様子から、その一片を感じ取ることができました。その姿勢を忘れず、これからも日々目標を持って、何事にも挑戦していってほしいと思います。

参加者の声
仙台市宮城野区
山田哲徳さん(10)
シミュレーターがおもしろかった
警察官にはいろんな仕事があるんだということがわかりました。自転車のシミュレーターがおもしろかったです。紙芝居では道路には危険がいっぱいだということもわかったので、今度から自転車に乗るときは気をつけようと思いました。

❸キャラクターデザインのお仕事

いろんなことに興味を持って、感性を鍛えよう

講師
(株)グラフィック・トイ
田村晋さん、大峯由美子さん(写真)

小さい頃から絵を描くことが好きで、その仕事に就くためにさまざまなキャラクターを研究しました。なぜ愛されるのか、なぜ飽きられないのか…。また、自分の作品をいろんな人に見てもらうようにもしていました。

大事なのは、たくさんのものを見て、感じ、興味関心を持つことだと思います。技術は描くことによって磨かれますが、生み出すために必要な発想力は、一朝一夕で身につくものではありません。そうした感性を磨き、諦めず努力していけば、夢はきっとかないます。

当日は多くの子どもたちが目を輝かせながら、自分の考えたキャラクターを発表してくれました。発表されたキャラクターを見て子どもたちから笑顔があふれていたように、キャラクターデザインは人を笑顔にするやりがいのある仕事です。今回授業を受けた子たちの中から、将来キャラクターを描くような仕事に就く子が出てきてくれたら、とてもうれしく思います。(大峯)

参加者の声
仙台市宮城野区
鈴木和さん(11)
キャラクターは奥が深い!
絵を描くのが好きで参加しました。性格とか大きさとか、ちゃんと決めて世の中のキャラクターはできあがっているんだと驚きました。講師の方のお話もおもしろかったし、絵を描くときは今日勉強したことを意識して描いてみようと思います。

❹ネイリストのお仕事

技術や感性だけでなく、ホスピタリティーも大切

講師
ネイルサロンペリカンボタン
菅原加織さん

大好きなネイルを夢中になって練習し、仕事に生かしてきました。とにかくコツコツと練習することが大切ですが、自分の技術や感性を押しつけるようになってはいけません。お客さんとの間に信頼関係を築き、喜んでもらえるような努力が必要です。

練習をしてもなかなかうまくできないときもありますが、たくさんおしゃれをしたり、絵を描いた り本を読んだり、そうしたところから感性を磨いていくことはできます。休みの日にはネイルをして出かけてみてください。いつもより楽しく感じられると思います。その気持ちを誰かに分けてあげたいと思えたら、すてきなネイリストになれるでしょう。

今回は子どもたちが真剣に話を聞き、楽しんでくれて、とてもいい経験になりました。おしゃれが好きなのは子どもも大人も変わらないもの。そんなおしゃれ心を、いつまでも忘れないでいてください。

参加者の声
仙台市太白区
菊地美乃さん(12)
家でもネイルに挑戦したい
ネイルは爪に色を塗るだけかと思っていましたが、実際にはいろんな細かい作業があり、そこが少し難しく感じました。でも講師の方が優しく教えてくれたので、きれいに塗れてうれしかったです。家に帰ったら自分でも挑戦します!

❺テレビ局のお仕事

好奇心やいろいろな体験を大事にして、夢に挑戦してみてください

講師
NHK仙台放送局
星川幸さん(左)、吉田晴香さん(右)

子どもの頃からの夢に挑戦しようと、試験対策講座のあるアナウンススクールに通いました。いつもノートを持ち歩いて、街を歩いていて感じた季節の変化や食べておいしかったものの感想を書いたり、新聞記事をスクラップして自分の意見を書いたり、とにかく思ったことを何でも書いて言葉にし、人に伝える練習をしました。社会の動きに詳しくなり、自分の気持ちも整理できて、とても役立ちました。(星川)

番組制作体験では、放送がカメラマンやディレクターをはじめ「チームの力」で作られていることを実感してもらえたと思います。私たちキャスターは、最後に、みんなの思いをつないで届ける責任の重い仕事です。その分、伝えたいことが本当に伝わったとき、大きな喜びがあります。自分の好奇心を大事にして、いろいろな人に出会い、さまざまなことを体験してください。無駄なことは一つもありません。(吉田)

参加者の声
仙台市宮城野区
渡部駆人さん(12)
キャスター役が楽しかった
テレビ局は、去年社会科見学で行ったときから興味を持っていたので応募しました。キャスター役としてテレビ番組づくりに参加して、とても楽しかったです。いろんなことを人に聞いてみるインタビューに興味を持ちました。

❻学芸員のお仕事

興味や関心のある、大好きなものやことを伝える仕事

講師
東北歴史博物館の
皆さん

今回は、石碑から拓本をとる、掛け軸を展示する、土器を安全に運ぶために梱包するなどの体験をしてもらいました。ふだんはほとんど目にすることがない学芸員の仕事に興味を持って参加していただき、私たちもうれしい気持ちでいっぱいです。

学芸員として働く場所は、私たちのような考古学や歴史などの分野だけではなく、美術工芸、科学技術、それ以外にも動物園・植物園で働く分野など、多くの分野があります。これらの学芸員の仕事に必要なこととして、共通のことが2つあると思います。1つは、どんなことにも興味や関心を抱く好奇心いっぱいの心。もう1つは、大好きな「もの」や「こと」を持ち、一生懸命学ぶことです。

「理想」はなかなか実現できなくても「夢」は絶対にかなえることができるものだと、自分自身を信じて明るく、元気にがんばれば、きっとその2つを手に入れられると思います。

参加者の声
多賀城市
貝塚勇羽さん(11)
大事な土器が割れないように
土器を運ぶ時、大事なものなので割れたりしないようにつんで箱に入れるやり方を実際に体験して難しい仕事だと思いました。石碑の字を写す作業は面白かったです。これから、もっと社会や歴史のことを知りたいと思いました。

❼サウンドクリエーターのお仕事

大勢の人に聴いてもらえる、やりがいのある仕事

講師
(株)キヴィ・エンタテインメント
長登隆宗さん

小学5年生の時に、ラジオから流れていた曲を聞かずなくてもピアノで弾きたいと思ったことがきっかけで、自分も音楽を作る立場になりたいと思いました。

この仕事をやるためには「音楽がどれだけ好きか！」が大切だと思います。楽しさとともに作り出す苦しさもありますが、大勢の人たちの記憶に残る物を作れるという魅力があります。自分が作った音楽がＴＶやラジオから流れて、それを聞いた人たちから、知ってます！とか、あの曲が好きです！と言ってもらえると、とてもうれしいし、やりがいがある仕事だと思います。

終了後に質問に来てくれた子どもたちもいて、その熱心な向上心に元気をもらいました。ほとんどの子どもたちが楽器を習っているようでしたが、自分たちが習っていることが音楽を作る仕事に結びつく可能性があると感じてもらうことができ、うれしく思いました。

参加者の声
仙台市青葉区
三島凛花さん(12)
音をつくりだす新しい楽しさ
ピアノを習っていて音楽に興味がありました。前一つ違うだけで聴こえ方や感情が違ってくるんだなと思いました。多賀城のCMサウンドづくりでナレーションを考えたり歌ったり、先生がピアノで音を入れたりして楽しかったです。

※参加者の年齢は3月21日現在の表記です。

私たちも、復興のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI／アヴィエスホーム／アサヒビール 東北統括本部／岩手日日新聞社／エイチ・アイ・エス／SK planet Japan／NTTデータ東北／キヤノンマーケティングジャパン／キリンビールマーケティング 宮城支社／ケーズデンキ／劇団四季／神戸製鋼所／サッポロビール 東北本部／サンセイランディック／サントリー酒類 東北支社／JA全農みやぎ／JTB東北／尚絅学院大学／住友不動産 東北支店／青南商事／生命保険協会 宮城県協会／セキスイハイム東北／石油連盟／仙台育英学園／仙台進学プラザ／仙台三越／第一生命保険 仙台総合支社／大東住宅／タゼン／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘／東北学院大学／東北三菱自動車販売／日本製紙 日本製紙クレシア／日本生命 仙台支社／野村不動産 仙台支店／はとバス／日立システムズ／平松剛法律事務所／ビルワーク／藤崎／富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ／松田会／三井不動産 東北支店／三菱地所グループ／三菱電機／宮城県自動車整備振興会／宮城県建設業協会／宮城県物産振興協会／みやぎ生活協同組合／明治安田生命 仙台支社／森永乳業／リコージャパン 東北事業本部／河北新報社 （順不同）

◎後援／宮城県、仙台市、多賀城市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、多賀城市教育委員会

［お問い合わせ］今できることプロジェクト事務局／河北新報社営業部 tel 022-211-1318

午前の部 社会科学習

面白い授業を通して、好奇心が刺激されます。知識が広がります。
企業のことが、今までよりもっと身近に感じられるようになりました。

授業❶ 森について学ぼう

●提供／アサヒビール

飲料メーカーであるアサヒビールは、広島県にある社有林「アサヒの森」を守り続けることで、自然の恵みを後世に残そうと取り組んでいます。子どもたちに森の大切さを知ってもらおうと2006年に始まった「アサヒ森の子塾」もその一環。今回の授業ではクイズや映像を通し、森の役割やアサヒの森で行われている活動について学びました。

「アサヒの森」で力を入れているのは「間伐」です。「木を伐採すると森林を破壊しているんじゃないか」と思われがちですが、実は違います。年月が経って弱っている木を伐採し、元気な木にたくさん日の光が当たるようにすることで、より豊かな森に育っていきます」と、映像を交えながら説明。伐採の様子と、明るく緑豊かな森の写真を見て、子どもたちは驚いた様子でした。

工作では、そのアサヒの森の間伐材を使ってペン立て制作に挑戦。自分の好きな絵や色でデコレーションし、自分だけのオリジナル作品に仕上がりました。

参加者の声
●森について学ぼうのペンたてをつくるときに、なるやや巨角形があってたのしかった。二酸化炭素を吸収するのが森や海っていうのがわかりました。▶仙台市宮城野区　渡部華乃さん(9)
●地球温暖化の原因や、森の大切さを学ぶことができた。将来で予想される異常気象を防ぐため、今からやるべきことをみつけたい。▶多賀城市　竹内里緒さん(14)
●地球温暖化の進行を防止するための対策はもたちの身の回りにたくさんあることがわかりました。▶仙台市太白区　角谷優莉さん(12)

授業❷ 体験！デジタル表現塾。君の動きがデジタルへ。

●提供／リコージャパン宮城支社

リコージャパンは、複写機やレーザープリンタ、デジタルカメラなど、リコー製品の販売・保守を行う会社。360度カメラは名前の通り、撮影者を取り囲む全天球イメージを撮影することができる世界初のカメラとして好評を博しています。

授業ではこのカメラで撮影した仙台市地下鉄東西線各駅構内の様子を、手を動かしただけで自由自在に見て回れる体感ゲームを実施。参加者は一生懸命体を動かしながら、画面の中に隠された河北新報社のマスコットキャラクター「かほピョン」を探しました。

リコーの画像解析技術を使った、「絵を描くこと」を楽しむオリジナルソフト「紙アプリ」では、自分の絵をスキャナで読み込み、コンピュータ上で戦わせる「紙パトラー」と、描いた絵が画面の中で自由に泳ぎまわる「紙アクアリウム」を体感。描いた絵の特性で強さが決まる紙パトラーではトーナメント戦が行われ、優勝者には景品が贈られました。

参加者の声
●自分が描いたイラストが動いてとてもおもしろかったです。イラストとイラストがバトルしたのはハラハラしておもしろかったです。▶仙台市太白区　大友陽菜さん(11)
●紙に描いたモンスターの強さをコンピューターに決めてもらって、画面に映してバトルをしました。ぼくは優勝しました。うれしかったです。▶松島町　相澤莉貴さん(8)
●自分の描いた絵が動いたり、360度カメラなど色々おもしろいことがあったので、またやりたいです。▶名取市　畠谷心夢さん(11)

授業❸ ロボットをつくる

～つくり方とつくれるようになる方法～

●提供／東北学院大学工学部

機械知能工学科ロボット開発工学研究室の熊谷正朗教授が、子どもたちに「ロボットとは何ですか？」と質問して授業がスタート。いろいろな例をあげてロボットの条件を整理し「動く機械であること、コンピュータで制御していること、ほぼモーターで動かしていること」と基本が示されます。しかし教授は「もう一つ大事なのは、ロボットと名前を付けて受け入れられることが必要」と参加者を驚かせます。つまり掃除ロボットは「掃除ロボット」と名前を付けたからロボットであり、もっと高度な作業をしていても全自動洗濯機や自動運転車はロボットとは呼ばれない、と説明がありました。その後メカニズムなどロボットの中身、さらにつくり方へと話が進みました。

一通りロボットの知識を学んだ後は、ラウンジに移動して実際のロボットを間近で見たり動かしたりするロボット体験。子どもたちは玉乗りロボットやUFOキャッチャーなど5つのロボット類を自分で動かし、歓声をあげていました。

参加者の声
●玉乗りロボットやいろいろなロボットの仕事がわかってよかった。▶仙台市太白区　島貫凛花さん(11)
●ロボットとは何かの答がロボットと名前が付いていること」と聞いてとても納得した。ヘビロボのアイデアが面白かった。▶仙台市宮城野区　遊谷知成さん(13)
●自分の好きなことをしている人の話を聞くと面白い。自分もむどんどんそれにひかれていった。▶宮城県富谷町　佐藤大地さん(12)

仙台進学プラザPRESENTS 保護者向け講演会

「お子さまの人生と向き合うために知っておきたい5つの法則」

「なぜお子さんに勉強してほしいのですか」という初歩的な質問から問題を突き詰めていくことによって「目的が変われば人生は変わる」と、木下さんは一つ目の法則を導き出します。そして「他人を喜ばせた人生」と「自分が喜びたい人生」との違いを示し、感謝や信頼を得るのは人を喜ばせる人生の中にあると指摘します。さらに「人に与えたものは必ず自分に還る」「存在承認が幸せへの第一歩」「許しと感謝は幸せを約束する」と順を追って法則を示し、「課題に向き合い続けることで成長が約束され人生は光り輝く」と解き明かします。「今日は子育てだけのことでなく、働き方、人生への向き合い方のヒントとして聞いていただき何かお役に立てるならありがたいです」と話す木下さんの圧倒的な説得力に、参加者は納得の表情を見せていました。

講演者 **木下晴弘氏**
(アビリティトレーニング代表取締役)

［プロフィール］1965年大阪府生まれ。同志社大学卒業後、銀行に就職するが、学生時代大手進学塾の講師経験で得た充実感が忘れられず、退職して同塾の専任講師になる。生徒からの支持率95%という驚異的な成績を誇り、多数の生徒を超難関校合格へと誘う。その後、関西屈指の進学塾の設立・経営に参画し、講師・講師研修などを実践。2001年からは株式会社アビリティトレーニングの代表として、全国で教員・保護者・生徒向け、さらに企業向けの講演を行い、セミナー受講者は26万人を超える。

ホームページで当日の様子を映像でご覧いただけます。 www.kahoku.co.jp/imadeki/ 河北　今できること 検索　facebookページもあります。